

自然観察 NOW

NO. 64

野幌森林公園 自然情報

発行：2022年6月9日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



ホオノキを見上げて、大輪の花を愛でよう。..その芳香も楽しもう。

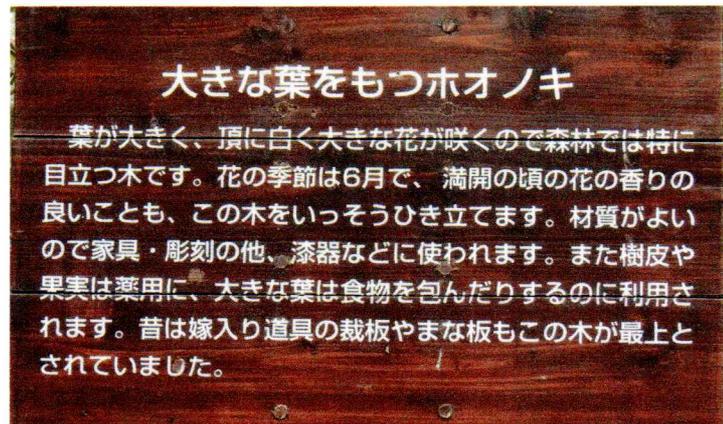
今日の森歩きでは、「ホオノキ」(モクレン科)の花をよーく観察してみましょう。

遠目に見ると白い大きな花ですが、双眼鏡などで覗くと、様々な段階のものがあり、雌花～雄花～結実・成長期と刻々の移ろいが楽しく観察できますよ。

とてもよい芳香から、「芳の木」を想像しますが、「朴の木」です。

[英語表記]

Japanese cucumber tree



野幌森林公園内の解説板

一本のホオノキには、とてもたくさんのつぼみが付いています。一つひとつ、咲くタイミングバラツキがある(一斉に咲かない)ので、森全体では、およそ1か月も花々を楽しむことができます。

日本一大きな花 ホオノキ

ホオノキは、沖繩を除く日本全土に分布する日本固有の植物です。20cmもの大きな花と40cmもの長さになる大きな葉が特徴です。

花は、6月に咲きます。花は、1日目は雌しべが成熟して花粉を受け入れる状態となりますが、2日目には雌しべは花芯(かしん)に密着し受粉能力がなくなる一方、雄しべの葯(やく)が割れて花粉を放出します。

1つの花の中で、雌雄の時期をずらすことで同じ花の中で受粉を防ぐ仕組みを作っています。

しかし、同じ木の隣の花との間で花の咲く時期がずれることが多いので、結局、自分の木の中で受粉がおきます。

ホオノキではその割合が非常に高いことが当研究所の研究でわかってきました。 出典/札幌西岡; 森林総研・見本林の解説板から



野幌森林公園内の樹木名プレート

→以下、ホオノキの冬芽から大輪の花が咲いて果実が成長するまでの様子を、写真で見てください。



①冬芽と葉痕



②葉の展開



③葉も蕾も成長



④つぼみが膨らむ



⑤開花も間近に



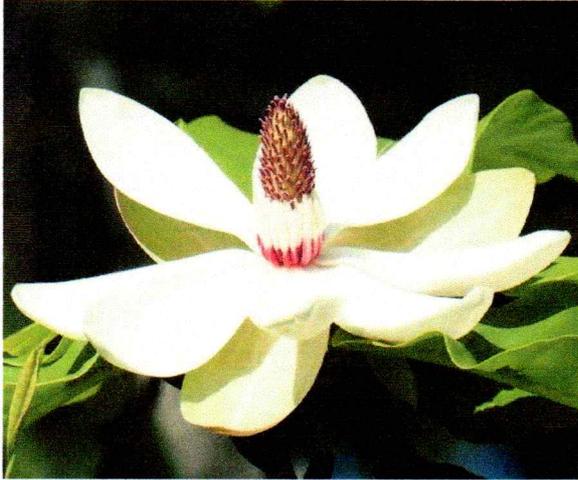
⑥開花目前、まるでソフトクリーム



⑦開花当座は”雌期”



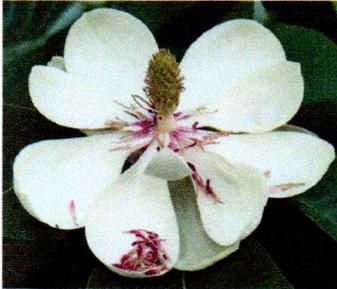
⑧雌しべが受粉体制、昆虫が訪花



⑨雌しべが広がり受粉、成熟～雌しべは花芯に密着



⑩”雄期” 雄しべの葯が割れて花粉を放出



⑪”雄期” 翌日には役割終了



⑫成長する果実



⑬実りの秋に向け果実が成熟へ



⑭大きな果実(袋果)



一口メモ
虫媒花とは
昆虫の媒介
によって、
花粉を柱頭
に伝達する
花 [広辞苑]

⑮花を訪れた昆虫

- ・花は、新葉が開いた枝先に上向きに咲く。
- ・樹皮は昔から、下痢どめ、防虫剤として利用されてきた。
- ・また、葉が大きいことから、食物をのせたり、包んだりした。
- ・果実は、漢方薬（腹痛どめ）などに利用される。

出典；「北海道の森林植物図鑑 樹木編」

文責：藤吉 功

◆今後の観察会などの予定

6月12日(日)	10:00-	前田森林公園自然観察会	札幌・手稲区、新川駐車場集合
6月19日(日)	10:00-	苫小牧緑ヶ丘公園観察会	苫小牧、金太郎の池駐車場集合
6月23日(木)	10:00-	オオハンゴンソウ防除	野幌森林公園、自然ふれあい交流館集合
7月1日(金)	10:00-	三角山登山観察会	札幌・西区、緑化会館登山口集合
7月9日(土)	10:00-	西岡水源地自然観察会	札幌・南区、西岡公園管理事務所前集合